

その他の主な修正箇所一覧

資料 1 - 3

※ページは、今回お送りした素案に対応しております

No.	項目	ページ	修正箇所
1	表紙の次のページ	目次の次のページ	「こども」の表記方法に関して解説を記載いたしました。
2	第3章 第3節 施策の体系	48, 49	見やすくするため、2 ページに分けて掲載いたしました。
3	第4章 第1節 1 こども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等	50	3 つめの成果指標「自分にはよいところがあると思うこどもの割合」につきましては、「権利意識」を測る指標としてはやや適性に欠けるため、削除いたしました。
4	第4章 第2節 3 <青年期> 成果指標	66	子ども・若者育成支援公民協働ワークショップのレビュー会議の結果を踏まえ、成果指標を次のとおり修正いたしました。 ○1 つめの成果指標は、「自分自身に満足していると感じている若者の割合」へ変更しました。 ・現況値：市のR6アンケート結果から ・目標値：国の同種のアンケート結果では、R1 が39.5%に対し、R4が49.0%で10%上昇していることを踏まえ、50%に設定いたしました。 ※5年ごと調査 ○2 つめの成果指標の目標値は、県のR4ひきこもり実態調査結果において、「何らかの相談に繋がっていない割合」が約60%だったことを参考に、約40%は繋がっていると推定されることから、40%に設定いたしました。 ※5年ごと調査

その他の主な修正箇所一覧

資料 1 - 3

※ページは、今回お送りした素案に対応しております

No.	項目	ページ	修正箇所
	(No.4つづき)		○3つめの成果指標は、「若者支援において市の施策が推進されたと感じる官民の支援者の割合」へ変更しました。 ・現況値：新規のため未設定 ・目標値：子ども・若者育成支援公民協働ワークショップの参加者のうち、「現在の支援制度が十分である」と答えた割合が約13%であったことから、半数の50%を目指す。 ※5年ごと調査
5	第4章 第2節 3＜青年期＞ 施策の展開（1）～（5）	66～68	12/16に実施した子ども・若者育成支援公民協働ワークショップのレビュー会議の結果を踏まえ、修正いたしました。